



☆☆ニュースレター☆☆

第156号
発行日:2018. 5. 28.
(since 2006.2.1)

このニュースレターはメールを登録している正会員および賛助会員ほか当団体が了承した希望者に、随時配信しております。配信中止を希望のかたは右記までご連絡ください。

NPO 法人・クライネスサービス

会長:稲垣 正彦

発行責任者:事務局長・桑原 正明

千葉県佐倉市宮ノ台3-2-2

npo-kleines-463@catv296.ne.jp

TEL/FAX:043-463-1337

<http://www.catv296.ne.jp/~kleines/>

前号第155号(2018.2.8 発行)以降のおもな活動・イベント

- ・3/11 (日): クリーン大作戦に参加---4コースに分かれて先導と警備
- ・3/31 (土): 「花見会」開催 (上座公園) ---好天に恵まれ29名参加
- ・4/29 (日): 「第35回緑のまつり」で会場警備、交通整理で参加
- ・5/12 (土): 「第96回仲間と歩こう会」
- ・5/20 (日): 「第19回定期総会」---次号「広報誌」にて詳細紹介予定



会員投寄稿 -45- 27年ぶりのテーマパーク

ほんとは行く気もなかったのですが、娘に『孫と一緒にこれで最後になるかも』と殺し文句を言われ、4月のある夕方車を運転して足を運びました。行く先は「東京ディズニーランド(TDL)」。

メモ日記に拠れば前回、当時小学生だった次女を伴い家族3人でTDL(開園:1983年)に初入場したのは1991年12月だったので、ざっと27年ぶりの再訪でした。結論から言えば「十分楽しめて、行ってよかった」ことになる。このテーマパークがオープンした当時は、人口的な娯楽施設に抵抗感があり、我も我もと押しかけた動きに背を向けていました。今回はとあるスポンサー企業の抽選に運よく5人分のチケットが当たり、しかも偶然に“開業35周年記念イベント”開催中でした。

以下印象に残った感想です。

・『スター・ツアーズ』---3Dメガネを掛けて“宇宙船”に乗り込む。「スター・ウォーズ」のような空間に突入し目の前では轟音もろともロケットが飛び上がったり、障害物への衝突を避けよう急旋回したりと上下に激しく揺れる。仮想の宇宙旅行ながらスリルと迫力は満点で、乗客の悲鳴が聞こえるといった具合。リアルな動きで座席のひじ掛けを握る両手にも力が入る。

・『イツ・ア・スモールワールド』---ボートに乗船しながら施設内を回遊すると両側ばかりか、高い天井にも世界遺産クラスのモニュメントやら、動物・人形などが次々登場する。聞きなれた音楽“it's a small world”のテーマ曲が館内に流れ、キャラクター人形が楽器を奏で、まるで夢の世界を一周するひととき。子供ならずとも目を見張る。

それにしても出口付近は歩くのも困難なほどの入場者数で、びっくり。娘に言わせると「きょうはいつもより楽」とのこと。最近ではスマホで待ち時間が分かるようだが、それでも通常日の混雑対処には関係者も頭を悩ませていると報道にあった。時間があつたら試されては如何でしょう。(4/17 記:H.K.)

サラリーマン川柳 (第一生命)

- ・スポーツジム 車で行って チャリをこぐ
- ・「マジですか」上司に使う 丁寧語